

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 6 区分
【発行日】令和 5 年 7 月 25 日(2023.7.25)

【公開番号】特開 2022-18869(P2022-18869A)
【公開日】令和 4 年 1 月 27 日(2022.1.27)
【年通号数】公開公報(特許)2022-015
【出願番号】特願 2020-122278(P2020-122278)
【国際特許分類】

B 6 5 D 43/06(2006.01)

10

【F I】

B 6 5 D 43/06 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 13 日(2023.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体吐出装置の液体タンクに液体を補充可能な液体収容容器であって、液体を収容可能な収容部と、

前記収容部に接続され、前記収容部に収容されている液体を注出可能な注出口と、外側に雄ネジ部を配した結合部と、を有する注出口部と、

前記雄ネジ部と螺合するように構成された雌ネジ部を内部に有し、前記注出口部に脱着可能に構成された蓋部と、

を備え、

前記結合部において、前記雄ネジ部が分断されている液体収容容器。

30

【請求項 2】

前記雄ネジ部は、前記注出口部の全周にわたって連続して形成されていない、請求項 1 に記載の液体収容容器。

【請求項 3】

前記結合部は、前記雄ネジ部が分断された部分の少なくとも一部に凹部を有する、請求項 1 又は 2 に記載の液体収容容器。

【請求項 4】

前記凹部は、前記注出口部を液体注出方向から見て、前記結合部において前記雄ネジ部の隆起部分を除いた部分の直径によって形成される円に対して内径側に形成される空間の一端となる部分である、請求項 3 に記載の液体収容容器。

40

【請求項 5】

前記結合部において前記雄ネジ部の隆起部分を除いた部分の直径によって形成される円における前記凹部に対応する円弧と前記凹部との距離が、0.5mm 以上である、請求項 3 または 4 に記載の液体収容容器。

【請求項 6】

前記結合部の前記凹部は、前記液体タンクの外側を取り囲むように設けられたソケットに形成された凸部に設けられた凸部と係合するように構成されている、請求項 3 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の液体収容容器。

【請求項 7】

前記凹部は、前記液体タンクに液体を補充する際に、前記凸部と係合する、請求項 6 に

50

記載の液体収容容器。

【請求項 8】

前記液体吐出装置には複数の前記液体タンクが備えられ、前記液体タンクの前記ソケットは、それぞれ異なる形状を有し、

前記結合部の前記凹部は、前記複数の液体タンクのうちの一つの液体タンクの前記ソケットに形成された前記凸部のみと係合することが可能であり、他の液体タンクの前記ソケットに形成された前記凸部と係合しない、請求項 6 または 7 に記載の液体収容容器。

【請求項 9】

前記結合部は、複数の前記凹部を有し、

少なくとも一部の凹部が前記凸部と係合し、他の凹部は前記凸部と係合しない、請求項 6 乃至 8 のいずれか一項に記載の液体収容容器。 10

【請求項 10】

前記液体タンクのソケットは、複数の前記凸部を有し、

前記結合部は、複数の前記凹部を有し、

前記複数の凹部が前記複数の凸部とそれぞれ係合する、請求項 6 乃至 8 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 11】

複数の前記凹部が、前記結合部において前記雄ネジ部の隆起部分を除いた部分の直径によって形成される円の中心に対して 180° 回転対称に存在する、請求項 9 または 10 に記載の液体収容容器。 20

【請求項 12】

前記結合部において前記雄ネジ部の隆起部分を除いた部分の直径によって形成される円に対する前記凹部の割合が、 10% 以上かつ 90% 以下である、請求項 3 乃至 11 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 13】

前記結合部において前記雄ネジ部の隆起部分を除いた部分の直径によって形成される円に対する前記凹部の割合が、 20% 以上かつ 70% 以下である、請求項 3 乃至 11 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 14】

前記蓋部と前記注出口部との当接箇所による密閉部をさらに備える、請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の液体収容容器。 30

【請求項 15】

前記注出口部は、液止弁を内部に備え、

前記蓋部は、前記蓋部の閉栓に伴って前記液止弁を開放する突起を内部に備え、

前記蓋部が前記注出口部に装着された状態において前記突起が前記液止弁を開放する、請求項 1 乃至 14 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 16】

前記液止弁は、オリフィス部と、弁体と、弁体を付勢する付勢機構とを有し、

前記付勢機構によって、前記オリフィス部と前記弁体とのギャップが閉塞される、請求項 15 に記載の液体収容容器。 40

【請求項 17】

前記液体タンクを密閉するタンクカバーを有し、当該タンクカバーを開けることで液体を補充可能に構成されている前記液体吐出装置に液体を補充可能な、請求項 1 乃至 16 のいずれか 1 項に記載の液体収容容器。

【請求項 18】

インクを収容するように構成されている、請求項 1 乃至 17 のいずれか 1 項に記載の液体収容容器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の一態様にかかる液体収容容器は、液体吐出装置の液体タンクに液体を補充可能な液体収容容器であって、液体を収容可能な収容部と、前記収容部に接続され、前記収容部に収容されている液体を注出可能な注出口と、外側に雄ネジ部を配した結合部と、を有する注出口部と、前記雄ネジ部と螺合するように構成された雌ネジ部を内部に有し、前記注出口部に脱着可能に構成された蓋部と、を備え、前記結合部において、前記雄ネジ部が分断されている。

10

20

30

40

50